

7種合 全作品

No. 1~106 (12a, 102a, 102b, 102cあり)

No.	初出		作者	題名	手数	7種合 完成	解掲載	完/不	備考
1	1955. 10	詰パラ	覆面作家	愛を求めて	113	70	詰パラ 1956. 1 p96	余詰	
2	1960. 11	近代将棋	北原義治		85	60	近将 1961. 1 p80	余詰	余詰指摘(近将08.6) “通りすがり”による修正案あり(詰将棋の欠片17.6)
3	1961. 10	詰パラ	長谷繁蔵		53	44	詰パラ 1961. 12 p64		余詰指摘(詰パラ20.12)→誤指摘情報(詰将棋一番星21.1)
4	1962. 3	〃	〃		59	46	〃 1962. 5 p67		
5	1963. 10	〃	横田進一	虹	71	56	〃 1963. 12 p69	余&不	余詰指摘(詰パラ20.12) & 不詰指摘(詰将棋一番星21.1)
6	1964. 7	〃	橋本守正		41	32	〃 1964. 9 p63	余詰	不詰→修正(64.10)
7	11	近代将棋	山田修司	天にかかる橋	75	60	近将 1964. 12 p103		順列7種合
8	1965. 4	〃	長谷繁蔵		61	46	〃 1965. 5 p113	余詰	
9	1966. 11	詰パラ	小西逸生		53	46	詰パラ 1967. 2 p72	余詰	余詰→修正(指摘・修正は「青玉」71.1か)
10	12	近代将棋	森敏宏		51	46	近将 1967. 1 p118		→改作(金波銀波集89.7)
11	1968. 11	〃	若島正		59	44	〃 1968. 12 p116		67手/余詰→修正(恋唄83.7)
12	1969. 12	〃	鮎川哲朗		67	58	〃 1970. 1 p120		順列7種合 不詰→修正再出題(70.4)
12a	1972. 9	詰パラ	新田道雄		91	86	詰パラ 1973. 3 p38	余詰	角のみ移動合
13	1973. 6	近代将棋	柳田明		73	64	近将 1973. 7 p141		順列7種合 余詰→修正(奇想曲88.1)
14	1974. 9	詰パラ	流石天斎		35	26	なし(舞扇6番の手順)		7種移動合 投稿ずみと図・手数のみ紹介 舞扇(74.11)6番に同図
15	9	〃	〃		37	28	なし		7種移動合 投稿ずみと図・手数のみ紹介 舞扇(74.11)5番に改作図
16	11	舞扇上巻	播磨宗齊	虹のかけ橋(7番)	71	56	舞扇 P15	不詰	71手/余詰→修正75手(戯玉集78.4)とあるが図省略され不詳
17	11	〃	〃	太陽系(8番)	59	52	〃 P16		59手/余詰→修正61手(戯玉集78.4) 〃
18	1976. 4	近代将棋	七條兼三	姉	75	58	近将 1976. 6 p134	余詰	順列7種合 →余詰指摘(詰パラ92.7)
19	4	〃	〃	妹	75	54	〃 1976. 6 p136	不詰	順列7種合
20	5	詰パラ	藤江和幸		81	62	詰パラ 1976. 7 p73	余詰	
21	1977. 8	〃	七條兼三		65	16	〃 1978. 2 p41		順列7種移動合
22	11	MEMORY	木脇克弘	ていとう(虫偏に 綴の旁+虫偏に東)	81	62	MEMORY		余詰→修正(MEMORY 78.8)
23	1978. 7	近代将棋	墨江酔人		69	54	近将 1978. 8 p221	不詰	順列7種捨合(中合5種・捨合2種) 惣津寧(詰パラ83.11) 不詰指摘→修正→誤指摘説→修正取消[この段階で「墨酔」 発行]→不詰指摘 橋本孝治による修正案あり(全詰連HP) ※1

24	12	詰パラ	変幻自斉		63	22	詰パラ 1979. 6 p46	余詰	順列7種移動中合 61手/余詰→修正(蘊奥85.5) ※2
25	1979. 6	〃	〃		57	18	〃 1979.12 p45	余詰	順列7種移動合 作意不明/不詰→修正(蘊奥85.5)
26	6	〃	〃		63	40	〃 1979.12 p46	余詰	順列7種捨合 余詰→修正(詰パラ80.3)/余詰→修正(詰パラ80.9=妙華集81.10)/余詰→修正(蘊奥85.5)
27	9	〃	七條兼三		61	14	〃 1980. 1 p23	不審	順列7種連続移動合 不詰&余詰→修正(墨酔91.12)----- 「墨酔」記載の手順は2歩あり不審 ※3
28	1980. 5	〃	木脇克弘		45	28	〃 1980. 8 p85	余詰	順列7種合 全合駒に選択肢なし(受方持駒1枚のみ、移動合する駒もなし) 初出：詰研会報(79.3)43手余詰
29	5	〃	小林看空	天使	37	32	〃 1980. 8 p85		順列7種合 全合駒に選択肢なし(受方持駒歩以外1種のみ [歩は2歩禁]、移動合する駒もなし) 45手→改作図紹介(詰パラ87.11 作者私信84.7より大原小助投稿)39手→改作(詰パラ96.9 & 10) ayuによる改作図(おもちゃ箱02.1)あり
30	6	〃	七條兼三		93	80	〃 1980.10 p34	余詰	解説者門脇芳桂による修正案あり
31	1981. 7	〃	橋本哲		53	28	〃 1981.10 p60		全合駒に7種の選択肢あり
32	8	詰恋会報	信太弘		47	42	詰恋 1985.10 p4	余詰	
33	12	詰パラ	深井一伸	七対子	89	82	詰パラ 1982. 3 p55		ダブル7種合 7種合完成は1回目60手, 2回目82手
34	1982. 4	近代将棋	新ヶ江幸弘	彩雲	155	96	近将 1982. 5 p154		煙詰 159手/余詰→修正再出題(詰棋めいと00.2) 初出：詰研会報80.9 143手題名なし/余詰→修正 & 命名 (詰研会報81.11)159手/余詰
35	6	〃	阿部冷二		73	46	〃 1982. 7 p152		盤面9枚・使用10枚 59手/余詰→修正(結果発表時)73手 →改作(めいと86.10) 初出：詰研会報79.4/余詰→修正(79.5)59手/余詰→修正 (詰研会報81.3)63手/余詰
36	1983. 9	詰パラ	小笠原隆治	雨あがり	71	60	詰パラ 1983.11 p87		
37	9	〃	角建逸		51	36	〃 1983.11 p88		
38	1985. 3	〃	藤本和		47	40	〃 1985. 6 p51		盤面10枚
39	8	近代将棋	〃	虹色の扉	139	60	近将 1985. 9 p160		順列7種合煙 同時にPN鈴木実で詰研会報85.6にも出題 ←初出(詰研会報84.8)PN鈴木実で149手題名なし/余詰 余詰指摘(近将85.10)→誤指摘(詰研会報85.9)
40	11	〃	山村浩太郎		57	46	〃 1985.12 p152		清貧図式
41	1987. 5	詰パラ	若島正		39	30	詰パラ 1987. 8 p65		盤面10枚
42	8	近代将棋	駒場和男	六法七変化	85	60	近将 1987. 9 p165		6種不成
43	1988. 2	詰パラ	高田豊通		69	52	詰パラ 1988. 5 p57		
44	2	〃	相馬慎一		53	36	〃 1988. 5 p59		順列7種合 貧乏図式 持駒桂4 余詰→修正(ツイッター16.8)

45	8	近代将棋	墨江酔人		91	60	近将 1988. 9 p167		順列7種合 小駒図式
46	9	詰パラ	机書斎	虹の(大)橋	71	36	詰パラ 1988. 11 p95	余詰	7種7枚合駒は1段のみ(7x1) 余詰→結果発表時修正 題名：出題時「虹の橋」、結果発表時「虹の大橋」(変更か誤植か不明)
47	9	近代将棋	小沢正広	賤ヶ岳	91	56	近将 1988. 10 p165		無仕掛図式 盤面7枚(最少局) 7種9枚の合駒は1・2筋のみ(2x6)
48	1989. 6	詰パラ	木脇克弘		81	62	詰パラ 1990. 2 p65		
49	8	近代将棋	駒場和男	事件	83	50	近将 1989. 9 p160	余詰	順列7種合 →余詰情報(近将89. 10)
50	12	詰パラ	机書斎	虹棧	75	40	詰パラ 1990. 3 p46	余詰	順列7種合 7種9枚の合駒は6筋のみ(1x7)
51	1990. 5	将	金子清志	虹の幻影	13	13	将 1990. 7 p381	余詰	攻方3種・受方4種(双玉)
52	8	詰パラ	森美憲		39	26	詰パラ 1990. 11 p78		盤面9枚
53	1991. 7	〃	山崎泰史	虹のかけら	15	14	〃 1991. 10 p76	余詰	7種連続合 合駒のとき受方持駒歩以外なし[歩は2歩禁]、 最短手数・7種合完成最短手数局
54	12	将棋墨酔	七條兼三	砂上の楼閣	145	122	墨酔 p320	余詰	煙詰 米長邦雄が「未完の大作」と紹介 「墨酔」には題名なく森田銀杏が作者の遺志を紹介(近将92. 2)
55	1992. 3	近将	添川公司	大航海	145	92	近将 1992. 4 p150		煙詰 修正再出題(詰研会報91. 5)←初出(詰研会報91. 1)余詰
56	1995. 9	詰パラ	近藤真一		47	28	詰パラ 1995. 12 p73		合駒は3×3の範囲内
57	1997. 8	〃	I. TADASHI	密室の謎姫	23	22	〃 1997. 11 p102	余詰	
58	1998. 5	〃	原亜津夫		35	24	〃 1998. 8 p74		無仕掛図式
59	10	〃	橋本孝治		61	40	〃 1999. 1 p75		盤面8枚
60	12	〃	今村修		15	14	〃 1999. 3 p88		7種連続移動合 7種合 & 7種移動合の最短手数・7種合 完成最短手数局
61	1999. 2	〃	酒井博久		111	88	〃 1999. 5 p73		
62	3	@niftySOFTV3	加藤徹		49	28	@nifty		順列7種合
63	11	詰パラ	堀切良太		55	48	詰パラ 2000. 2 p73		
64	2000. 3	〃	濱田博		13	13	〃 2000. 6 p84	余詰	攻方2種・受方5種(双玉)
65	2002. 1	おもちゃ箱	ayu		25	24	おもちゃ		順列7種合 順列7種合の最短手数・7種合完成最短手数局 No. 29小林看空作「天使」の改作図
66	4	詰パラ	糟谷祐介		25	24	詰パラ 2002. 7 p73		不動玉
67	8	〃	谷川浩司		71	42	〃 2002. 11 p73		
68	2006. 9	〃	酒井博久		115	98	〃 2006. 12 p88		
69	2007. 8	〃	深井一伸	夜神楽	71	42	〃 2007. 11 p79		
70	9	〃	菅野哲郎	LOVE IS OVER II	21	16	〃 2007. 12 p69		順列7種移動合
71	2008. 2	〃	〃	LOVE IS OVER	11	10	〃 2008. 5 p56		順列7種移動合 攻方2種・受方5種(双玉) 順列7種移動合の最短手数・7種合完成最短手数局
72	2010. 2	〃	中井雄士		65	40	〃 2010. 5 p115		盤面10枚
73	4	〃	添川公司	虹と雪のパラード	153	144	〃 2010. 7 p84		煙詰

74	2011. 5	〃	堀切良太		49	42	〃	2011. 8 p73	
75	2012. 3	〃	安武翔太		49	40	〃	2012. 6 p76	盤面10枚・使用10枚
76	7	〃	酒井博久		71	48	〃	2012. 10 p92	
77	2013. 2	〃	堀切良太		71	62	〃	2013. 5 p70	
78	11	〃	田島秀男		17	16	〃	2014. 2 p61	
79	2015. 6	スマホ詰パラ	nthigh	玉方、七色の駒台	49	40			
80	8	〃	〃	玉方七色の駒台2	73	64			
81	9	詰パラ	馬屋原剛		75	56	詰パラ	2015. 12 p74	握り詰 詰将棋全国大会(15. 7. 19)で発表
82	9	スマホ詰パラ	nthigh	豆腐図式七種合	63	46			豆腐図式
83	2016. 9	詰パラ	及川拓馬		53	36	詰パラ	2016. 12 p75	合駒は3×4の範囲内の異なる箇所
84	9	〃	中山芳樹		73	60	〃	2016. 12 p76	
85	2017. 1	スマホ詰パラ	Comet_Lulin	二枚竜vs虹の盾	59	42			
86	3	詰パラ	岡圭吾		43	14	詰パラ	2017. 6 p95	1枚の角に対して連続移動合
87	4	〃	**	虹色花火	53	14	〃	2017. 7 p82	**野曾原直之, 中村宜幹, 広瀬稔, 梶下雄貴 全駒配置 1枚の龍に対して連続移動合
88	8	スマホ詰パラ	kisy	豆腐図式七種合への挑戦	59	44			豆腐図式
89	10	詰パラ	西川洗佑	要は馬	65	54	詰パラ	2018. 1 p75	かめぞうさん, 無題, 61手/54手→改作(スマホ詰パラ21. 8)
90	2018. 3	〃	山路大輔	ファイナルカウントダウン	159	132	〃	2018. 6 p80	煙詰
91	4	〃	石本仰		43	30	〃	2018. 7 p81	盤面9枚
92	10	〃	かめぞうさん		79	70	〃	2019. 1 p87	4種合→改作7種合(詰パラ19. 2)図のみ紹介 →PNいりす図・手順(青い鳥19. 7)
93	11	〃	**		65	48	〃	2019. 2 p76	**齋藤駿汰, 岩村凜太郎
94	2019. 3	〃	宮田敦史		57	28	〃	2019. 6 p77	7種移動中合 途中無仕掛
95	3	スマホ詰パラ	kisy	Catch The Rainbow	41	40			
96	9	詰パラ	かめぞうさん		55	48	詰パラ	2019. 12 p72	
97	11	〃	添川公司	サライ	137	114	〃	2020. 2 p73	煙詰
98	2020. 3	〃	山路大輔	Curiosity	151	120	〃	2020. 6 p78	煙詰
99	4	おもちゃ箱	安武翔太		55	46	おもちゃ		盤面7枚(最少局)・使用9枚(最少局)
100	12	*	**		51	40	**		*@vr55PhiZ54snq1A **Twitter「詰将棋新作ギャラリー」
101	2021. 5	詰パラ	岩村凜太郎	攻野の七人	39	25	詰パラ	2021. 8 p96	攻方7種合
102	6	おもちゃ箱	やよい		17	16	おもちゃ		受方合のみの順列7種移動合の最短手数・7種合完成最短手数局
102a	7	スマホ詰パラ	keima82	モノクロームの虹	39	34	スマホ詰パラ		順列7種合
102b	9	詰パラ	仲村宜幹	国土無双	63	56	詰パラ	2021. 12 p94	生駒7種+成駒6種移動合
102c	9	スマホ詰パラ	keima82	虹の残骸	89	44	スマホ詰パラ		
103	10	詰パラ	石本仰		61	42	詰パラ	2022. 2 p77	使用9枚(最少局)
104	10	〃	添川公司	メドレー	123	104	〃	2022. 2 p79	煙詰

105	2022. 1	スマホ詰パラ	kisy	Weather Report	165	130			煙詰
106	7	詰パラ	山葉桂		43	30	詰パラ 2022.10 p72		7種中合

【参考作】

- ※ 近代将棋 1984年12月号の添川公司作「カオス」は7種合作品だったが、余詰があり詰将棋パラダイス2012年8月号に発表された修正図は7種合ではなくなった。

【注】

- ※1 No.23 墨江酔人

作者は最初「順列7種中合」としていたが、発表後7種のうち2種は中合でなく捨合ではないかと疑義が出され、その後作者も認めて、以後「順列7種捨合」ということで定着しているかに見える。

しかし、これは正しいか。この作品を「順列7種捨合」と呼ぶと、捨合は中合を含む概念になる。しかし多くの人は、中合と捨合は互いに独立した関係で、捨合は中合を含む包括関係ではない、と認識しているのではないか。この作品は、あえて言うなら「順列7種変則合」とでも呼ぶのが妥当であろう。

- ※2 No.24 変幻自斉

作者は「順列7種移動中合」としているが、移動中合の7種の間移動合・非中合と非移動合・非中合の2つの合が入っている。移動中合の7種だけとれば順列になってはいるが、一般には否定的か。

- ※3 No.27 七條兼三

『将棋墨酔』というれっきとした本にある手順だが2歩があつて不審。掲出の図・手順は修正図のもので2歩を許した形になっている。